

休日当番医・日曜当番医・休日歯科診療

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、担当医療機関にお問い合わせください。

11月1日(日)	山口医院	9時～12時 14時～17時	平 作 町	24-1811
	白井外科胃腸科医院	8時30分～12時	平 下 平 窪	25-3788
	志賀整形外科・外科	9時～12時	平 鍛 治 町	23-5050
	みずたに耳鼻咽喉科医院	9時～17時	小名浜愛宕町	73-1187
	櫛田病院		植 田 町	63-3202
3日(火)	ときわ会常磐病院	8時30分～12時	常磐上湯長谷町	43-4175
	須田医院		小 島 町	27-6060
	ニュータウン腎・内科クリニック	9時～12時	中 央 台 高 久	46-0606
	長谷川整形外科医院	8時30分～11時30分	平 五 色 町	25-5691
	いづかクリニック	9時～17時	小名浜中町境	52-2225
8日(日)	森のこどもクリニック		植 田 町	38-7227
	いわき草木台総合クリニック		草 木 台	28-1145
	たかはしクリニック	9時～12時 14時～17時	平 上 荒 川	46-1231
	白井外科胃腸科医院	8時30分～12時	平 下 平 窪	25-3788
	須田医院		小 島 町	27-6060
15日(日)	中村病院	9時～17時	小 名 浜 大 原	53-3141
	こうじま慈愛病院		錦 町	63-5141
	いわき湯本病院	9時～12時 14時～17時	常 磐 湯 本 町	42-3188
	たかはしクリニック		平 上 荒 川	46-1231
	山口医院		平 作 町	24-1811
22日(日)	白井外科胃腸科医院	8時30分～12時	平 下 平 窪	25-3788
	須田医院		小 島 町	27-6060
	磐城中央病院附属診療所	9時～17時	小名浜南君ヶ塚町	53-3511
	呉羽総合病院		錦 町	63-2181
	さかもと内科胃腸科クリニック		常 磐 関 船 町	72-2022
23日(月)	たかはしクリニック	9時～12時 14時～17時	平 上 荒 川	46-1231
	相田整形外科	9時～12時	平 中 平 窪	35-0808
	白井外科胃腸科医院	8時30分～12時	平 下 平 窪	25-3788
	須田医院		小 島 町	27-6060
	小名浜生協病院	9時～17時	小名浜岡小名	53-4374
29日(日)	なこそ病院		勿 来 町	65-7755
	せき整形外科クリニック		常 磐 西 郷 町	84-9905
	須田医院	8時30分～12時	小 島 町	27-6060
	後田内科クリニック		小 名 浜 橋 本	92-1222
	さいとう内科クリニック	9時～17時	佐 糠 町	77-1001
12月6日(日)	吉成内科	9時～12時 14時～17時	常磐上湯長谷町	42-2220
	たかはしクリニック		平 上 荒 川	46-1231
	坂本整形外科医院	8時30分～12時	平 豊 間	38-2830
	白井外科胃腸科医院		平 下 平 窪	25-3788
	須田医院	9時～17時	小 島 町	27-6060
13日(日)	門屋整形・内科		小名浜鳥居北	54-4047
	矢吹病院		佐 糠 町	63-1818
	加沢胃腸整形外科	9時～12時 14時～17時	常磐水野谷町	42-2198
	たかはしクリニック		平 上 荒 川	46-1231
	山口医院	8時30分～12時	平 作 町	24-1811
12月13日(日)	白井外科胃腸科医院		平 下 平 窪	25-3788
	志賀整形外科・外科	9時～12時	平 鍛 治 町	23-5050
	洋向台クリニック	9時～17時	洋 向 台	55-5150
	呉羽総合病院		錦 町	63-2181
	渡辺産科婦人科	9時～12時 14時～17時	常 磐 関 船 町	42-4567
12月27日(日)	たかはしクリニック	8時30分～12時	平 上 荒 川	46-1231
	白井外科胃腸科医院		平 下 平 窪	25-3788
	須田医院	9時～17時	小 島 町	27-6060
	かしま病院		鹿島町下蔵持	58-8010
	こうじま慈愛病院	9時～17時	錦 町	63-5141
12月29日(日)	春山医院		常磐下湯長谷町	44-4011

県子ども救急電話相談

☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話)
毎日 19時～翌朝8時

日曜 小児専門当番医 9時～12時

11月	1日	こどもクリニックすずき	泉 町	56-6336
	8日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	15日	若松医院	平 大 町	22-3838
	22日	渡辺クリニック	平 南 町	25-1170
	29日	相原小児科医院	内郷御殿町	26-5551
12月	6日	いわき草木台総合クリニック	草 木 台	28-1145
	13日	おおはらこどもクリニック	東 田 町	63-0001
	20日	森のこどもクリニック	植 田 町	38-7227
	27日	ながい小児科	平上荒川	28-2535

休日 泌尿器科当番医 9時～15時

ときわ会常磐病院 (常磐上湯長谷町) ☎43-4175

11月	1日、3日、8日、15日、22日・23日、29日
12月	6日、13日、20日、23日、27日、30日・31日

日曜 精神科当番医 10時～16時

新田目病院 (平上荒川) ☎28-1222

11月	1日、8日、15日、22日、29日
12月	6日、13日、20日、27日

日曜 眼科当番医

中央台ななか眼科 (中央台高久)
9時～14時 ☎29-1722

11月	1日、8日、15日、22日、29日
12月	13日、20日、27日

休日 歯科診療 9時～12時

休日救急歯科診療所 (受付終了時間15時30分)
(総合保健福祉センター内) ☎27-8620

11月	1日、3日、8日、15日、22日・23日、29日
12月	6日、13日、20日、23日、27日、31日

※このほかにも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署 (☎23-0119) へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日夜間急病診療所

(総合磐城共立病院内) ☎27-1208

平日:20時～24時 土曜日:20時～翌朝7時

日曜日:13時～24時 祝日:9時～24時

●かかりつけ医をもちましよう

●「へんご」受診せやめましよう

●救急車は適正に利用しましよう

市民の

健康教室



提供・問い合わせ
社いわき市医師会
☎27-7155

スマホ老眼

新聞や本を読むとき、目から離さない見えにくい老眼。その多くは、四十歳代以降の人に見られる症状ですが、最近では、二十、三十歳代の人にも、この老眼の症状が増えています。スマートフォン(スマホ)を長時間見ている若い人によく見られるため、「スマホ老眼」とも呼ばれるようになりました。

新聞や本を読むとき、目から離さない見えにくい老眼。その多くは、四十歳代以降の人に見られる症状ですが、最近では、二十、三十歳代の人にも、この老眼の症状が増えています。スマートフォン(スマホ)を長時間見ている若い人によく見られるため、「スマホ老眼」とも呼ばれるようになりました。

私たちの目は、水晶体を厚くしたり、薄くしたりする毛様体筋という小さな筋肉が働くことで、焦点を合わせています。本来は、加齢で起る毛様体筋の働きの低下が、スマホを長時間使うことで、若い人でも起きてしまうのです。症状は、遠くの景色はよく見えても小さい文字を見るときは少し離れた方が見やすい、焦点を合わせるのに時間がかかる、焦点が合わない、これらの症状が特に夕方

になると出てくるなどです。これに気付いた若い人は、スマホ老眼の可能性があります。スマホを使い過ぎないことはもちろんですが、目とスマホの距離を四十センチメートル以上離す、画面は明る過ぎず暗過ぎずに設定する、やむを得ず長時間スマホを使うときは時々顔を上げて遠くを見詰めるなどが、スマホ老眼の予防に有効です。

インターネット検索や動画視聴などでもできる便利なスマホですが、早くから老眼鏡のお世話にならないよう、上手にお付き合いしてみましよう。



かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ
(ホームページURL <http://www.iwaki.or.jp>)

外科医療録 ⑧

脾がんの手術
脾臓は、みぞおちの高さで、胃の裏側、背骨の前にあります。脾がんは、最近、患者数、死亡者数共に増加傾向を示し、男性のがん死の第五位(年間約一万六千人)、女性では乳がんより多い第四位(年間約一万五千人)です。脾がんにかかる率は、男女共に、人口十万人当たり、約二十五人ほどです。
治療は、脾臓学会のガイドラインによれば、他臓器への遠隔転移や重要な動脈への浸潤がない場合には、切除手術が推奨されます。脾がんのある場所によって、脾臓十二指腸切除術(脾臓の右半分+胆管+胆のう+十二指腸を切除)、脾体尾部切除術(脾臓の左半分を切除)、または脾全摘術が行われます。がんの進行度によっては、手術の前後に、抗がん剤治療を追加することもあります。

脾がんの五年生存率(手術して五年後に生き残る比率)は、脾臓の中にとどまっている時期(ステージⅠ、Ⅱ)は四十、五十五パーセント、近くのリンパ節に転移を認めた場合、あるいは脾臓の周りの臓器に浸潤している場合(ステージⅢ)は三十一パーセントと報告されています。近年、切除される脾がんは五十パーセントを超えています。それでも脾がん全体での五年生存率は七パーセントと、他のがんに比べて大変厳しい成績です。
放射線療法や抗がん剤を組み合わせた治療も、現時点で切除手術に勝る成績は出ていません。
検診ではなかなか発見しにくいがんではありますが、早期診断が治療成績向上のポイントです。

けんこうQ&A 整形外科 ⑧

手のしびれ
Q 最近、右手指がしびれます。何の病気でしょうか?
A しびれは、神経の障害であり、手のしびれは、実は脳で感じるのです。したがって、脳から首、腕、肘、手首のどの部位での神経障害も、手のしびれの原因になり得ます。
鎖骨の奥で神経や血管が圧迫される胸郭出口症候群、肘で尺骨神経が障害される尺骨神経障害、手首での手根管症候群は、手指のしびれ的主要原因疾患です。
また、糖尿病や風邪に似た症状の後で、末梢神経が障害されたりすることもあります。

しょうが
A 生命に関わる危険なしびれは、脳梗塞などの脳の病気ですが、脳の障害部位によって、手指だけでなく、足や顔面にもしびれが生じたり、うまく話せない、飲み込みにくい、物が二重に見える、めまい、吐き気、頭痛などの症状が出ることもあります。また、頸椎で神経が圧迫される頸部脊髄症や頸椎神経根症は、病状が進行すると、四肢まひが生じて歩けなくなることもあります。
いづれにせよ、しびれ症状が出現したら、早めに正確な診断をつけることが大切です。かかりつけの内科や整形外科、脳神経外科、神経内科に相談しましょう。